

季節のことば

筍が美味しい季節である。筍の親である竹は普通の植物とは違い春先になって黄葉をはじめ。俗に云う「竹の秋」である。竹は春先に筍を生み出すために、冬の間は有機成分を地下茎にせっせと貯蔵する。竹の子に養分をまわしきると親竹は衰え竹の秋を迎えるというわけだ。他の

草や木のように秋に黄葉して冬に休むわけにはいかない。まっすぐ伸びる竹の一本気な性格です。ね、これは。ちなみに、竹の子が生え若竹となり親竹も青々と茂るころのことを「竹の春」という。季節でいえば秋、10月頃である。

三笠ニュース

●あなたと三笠をむすぶホット情報

PR旬報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530

軽便型・電直型バイブレーター 新型モーターの採用で 軽量化と耐久性が向上!!

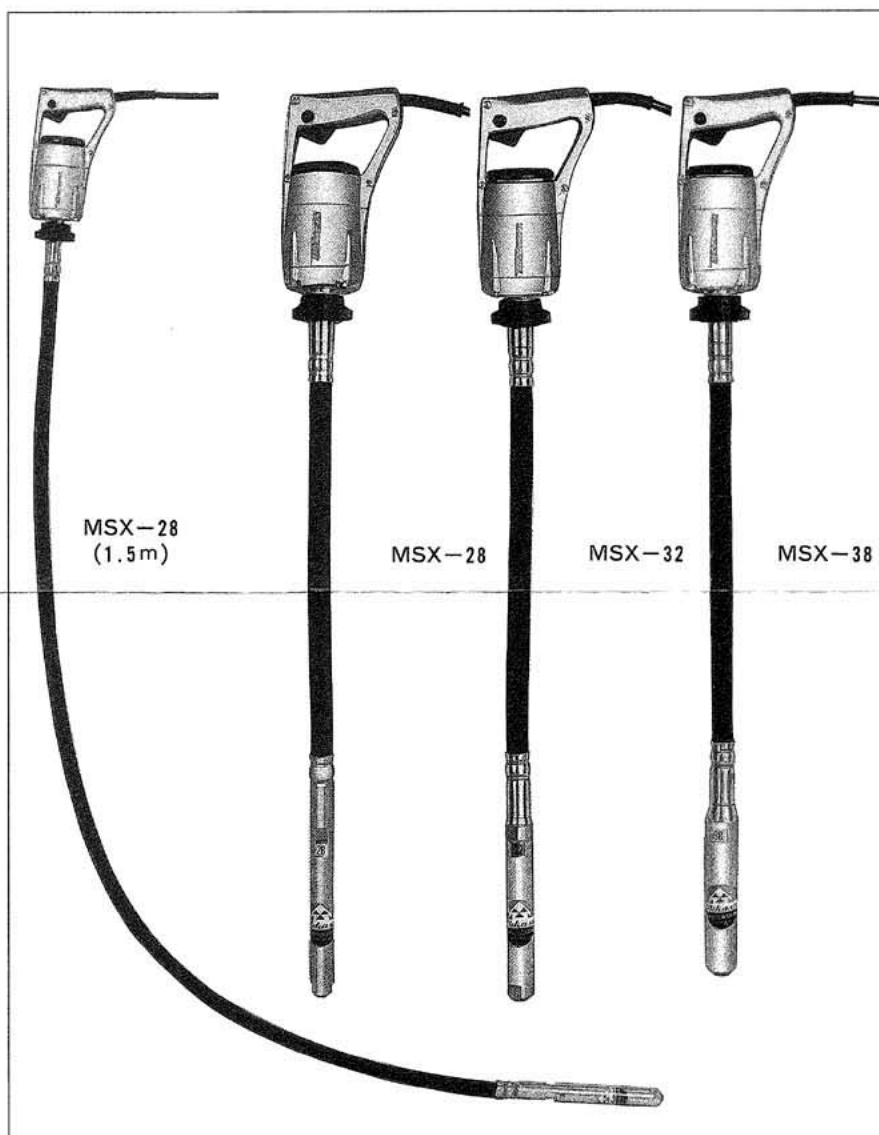
軽便型コンクリートバイブレーター、略してケイベン・パイブ。三笠のケイベンのモーターは前面が密閉されていてモルタルがモーターの内部に浸入しないことを大きな特長としている。些か旧聞に属するが、このミッペイシリーズにMSX・MSZモーターが装いも新たに登場した。軽量化と耐久性の更なる向上。長寿命のケイベン・モーターMSX・MSZについて述べさせて頂く。

国内外の市場に出回ったのは約半年前だが、MX・MZ型当時のモーターに比べ入力コードを除いた重量は約11%軽くなり、設計者の弁に依ると、手許振動解析とボディーに三次元曲線を採用、グリップし易く手許への振動を極力抑えたモーターである。入力コードは1.25mmを採用、在来型(MX・MZ)に比べ断面積で倍近く、電圧低下によるトラブル防止に役立っている。依ってコンクリートの中に挿入した時の振動数は在来型のモーターに比べ数百回転高く、性能向上に寄与している。

前面密閉型モーターの設計で最も苦勞するのが冷却風のとりまわしである。どこへでも風を送るのではなく、限られた大きさと出力のなかで、有効に風を配分し、エネルギーのロスを抑える必要がある。コイルに発生する電流は、コンミテーターによって整流され、カーボンブラシを通して外部に取り出される。ブラシとコンミテーターは摺動接触によって電氣的に結合されている。ケイベン・パイブに使われている整流子モーターの寿命は、軸受を除いてはカーボンブラシとコンミテーターの摩擦如何に関わってくるのではなかろうか。これはまた、この部分の冷却により大きく左右されると思う。

このため、ブラシホルダー周辺の温度上昇を在来型に比べ低く抑えるように冷却風を誘導する構造を採り、更に軽量化を目指し冷却風通路の部品点数を減らした。これは後に組立工数の低減にも寄与した。

冷却効果は28型シャフトセットを取り付けたケイベン・パイブで、ブラシホルダーまわりの温度が在来型に比べ



10%程低下したことにより効果の程が窺われる。作業者が直接触れるダイキャストのボディー外周では、外気温より約35%低い状態に保たれた。

長寿命とするにはカーボンブラシの形状・寸法と材質ならびにコンミテーターの材質も検討された。その結果、安定した性能で定評のあるMP型と同じものを採用した。ちなみにMP型とは、赤ブラモーターと呼ばれる二重絶縁型のプラスチックボディーのケイベン・モーターのことである。

セグメントバーはMP型同様1%前後の銀を含有し、カーボンブラシとの相性がよいのか、後述の如く長い時間使うことが出来た。耐久テストは昨秋実施され、全負荷連続で行ったが、150時間でも摩擦量が少ないので打ち切った。

まず負荷の決め方は。28型パイブで

は約3A、32型で約4A、最も太い38型で約4.5A掛かる。よって電圧AC100Vに於ける負荷を4.5Aに固定し昼夜連続で運転し、カーボンブラシとコンミテーターの摩耗状態を計測した。しかしながら深夜には電圧の変動が大きく、且つ無人なので、途中から昼間の勤務時間のみの運転とした。

その結果139.5時間でコンミテーターの摩耗量は平均76/1000mm、最も摩耗した個所でも16/100mm、カーボンブラシの摩耗量は僅か2.05mm。累計運転時間150.2時間で計測を中止したが、この時のカーボンブラシ摩耗量は3.1mm、摩耗率21.9%。まだまだ使える状態であった。4.5Aと言う負荷に注目されたい。軽便型バイブレーターシリーズで最も太い38型を使ったときに4.5Aの負荷が掛かる。通常の作業で多用されているのは28型か32型で、負荷はぐっと軽減



日常の業務多端に加え、あれこれ社会経済情勢の混沌をどの様に私なりに整理して受け止めようか、課題の多い昨今である。正午を告げるブザーの音にさそわれて窓辺に立てば空は董色。東京でもたまさかこんなホントの空に巡り合えることもあるのだ。「うらうらと照れる春日にひばりあがり……」うつろ覚えの古歌の一節が脳裏をかすめたのには驚いた。万葉か古今集か？ もちろん下の句は出てこないが、ともあれ珍しく不意うちのエモーションにうっとりし、そういえばヒバリという小鳥の存在など忘れて幾十年になるだろう。小学生のころ自転車に乗れるようになった日。いやもっと後の日に青森県南部の田舎道で揚げ雲雀の声と姿を見上げたことがある。「一升貸して二斗取る。利取る利取る」と聞こえるから耳を澄ましてごらんさいと教えられた。戦後を脱した日本の経済も揚げ雲雀のように上昇をはじめ私たちは三笠キャラバン隊を自称して代理店さんめぐりに励んでいた頃のことである。二戸から三戸そして八戸へむけて走った砂ぼこりの峠道で休憩した時のうっとりするような春の日だった。土産に買った南部煎餅が車の振動ですべて粉々になっていたのには啞然とした。

砂ぼこりの道といえば初めて買った自動車で湯河原めざして走った真鶴道路。一台追い越しを受けるたびにもうもうの砂煙で徐行を余儀なくされたものだ。変な話だがこんなことが妙に懐かしく思い出によみがえってきた。断じて社長室での現実逃避なんかではない。すみれ色の春の空から浮かんだほんの束の間のやすらぎである。

される。即ち、カーボンブラシならびにコンミテーターの寿命は更に永くなると考えてよいのではなかろうか。

MSX・MSZ新ミッペイモーターは市場にでてからまだ日が浅いが、その性能のすばらしさ、使い易さの噂はつとに広まっている。これから先は長寿命が話題になるのではなかろうか。

三笠が働く牧歌風景 ユーザーに聞いた六つの理由

今、私は朝もやの中を長野県の国道141号線佐久インター付近の道路を、市内に向けてトラックを走らせている。車の荷台にはお客様がお待ちのご下水工事現場に届けるMVH-402DSパイプロコンパクターが積んである。これは昨日、春日部工場で出来上がったばかりのものだ。

車窓を左右に流れる上下2車線のこの道路は2年ほど前に上信越道佐久インターから国道18号線へ連絡するために拡幅された道路である。その当時両側に下水道を埋設し、歩道を作るために数工区に分かれた各工事現場にMVH-302DSが1台ずつ計5～6台が活躍していたことが昨日の様に思い出される。

そう言えば昨年の春、唐松林が爽やかな緑色の若芽を芽吹いた頃、蓼科の山麓白樺湖に抜ける曲がりくねった坂道でも下水道を引くための工事現場で5～6台のMVH-302DSが力強く働いていた。県内では人目を引く国道沿いだけでなく至る所でこれが働いている。北アルプスの見える細い山道を車で上っていくと石垣が目につくひなびた集落がある。幼児を背負った親子のかたわらでヘルメット姿も凛々しい作業者の手許でMVH-302DSが農業集落排水工事のために使われている。又、子供たちがサッカーに興じている山の小さな小学校の校庭のフェンスの外で下水道工事にMVH-402DSが働いている。

秋、アルプスの麓の村々は黄金色にたわわに実った稲の刈り入れが大忙しだ。唸りを上げるコンバインのかたわらの道路でもMVH-302DSが活躍して



いる姿が遠めに小さく見える。村や町の路地裏の農家の土蔵のかたわら田圃や畑の側の道でもパイプロコンパクターは活躍している。大変なご苦勞をなさって工事を行っている作業の方々には申し訳ございませんが、まるで原田泰治の絵の世界で機械が働いている様に思えて仕方ない。

日本の国土の3.6%の面積しかない長野県でパイプロコンパクターの普及率がなぜ国内でも群を抜いているのだろうか？ 県民性として進取の気性に富んでいるからだろうか。先日いろいろな現場で作業をされている方々からパイプロコンパクターを何故使用しているのかを聞いてみた事を思い返してみた。

- 1) 採石を揺すり込む様な強い振動の輻圧力があるので、後日陥没がほとんど無く手直しの必要がない。
- 2) 同じ作業量の場合80kgのランマーとMVH-302DSを比べると作業時間が1/3位に短縮するほど効率が良い。(スピーディーに作業を先に進めることが出来る。夕暮れからの埋め戻し作業が早く終わる)
- 3) 自然輻圧をしなくてもすぐ仮舗装が出来る。(自然輻圧の場合砂利跳ねによる民家のガラス破損や砂埃による住民の苦情が多い)



4) ランマーの場合2人で作業を行う事があるがパイプロコンパクターは安定性があるので1人の作業で充分である。(人件費が節約出来る。余剰員は別の仕事出来る)

5) パイプロコンパクターは200kg、330kg、440kgと重量級だが作業時は前後進や施回も楽々出来る程軽快だ。又現場にはバックホーやユニックが有るので乗せ降ろし移動が簡単出来る。

6) アフターサービスも完璧なので安心して作業が出来る。

など以上のような理由で使用していると言うお誉めの言葉を頂いた事が思い返された。私自身今後ますます心を引き締め、お叱りの無いようアフターケアに万全を期することを改めて心に誓いお客様のお待ちしている下水道の工事現場へと車を進めた。

長野営業所 小野記

三笠産業(株) 横浜営業所 賑やかにオープン!

かねてより計画中であった横浜営業所が、1月27日(金)横浜市港北区新羽町にオープンした。新営業所は、新横浜駅から北西方向に直線距離で2km程で、第三京浜港北インターチェンジから車で10分ほどの所である。

まわりはまだ梨畑など田園風景を残したところだが、いずれ新横浜周辺に立ち並ぶビル群に飲み込まれるだろうと今後の発展が期待される地である。

50坪の敷地に、1階16坪の倉庫、2

階同じく16坪の事務所と小粒にまとまった感じの事務所ではあるが、中からはいつも明るく力強い声が聞こえるはずである。

オープン当日は事務所の中で日頃三笠製品の拡販に力を注いでおられるディーラーさんや関係者をお招きして披露パーティーが開かれた。

開宴に先だって京谷社長から神奈川県人として、神奈川県への思い入れがどれほどであったか、昔の横浜、戦後の駅周辺の景色、目覚ましい復興などの思い出話とともに「横浜営業所への応援を一層お願い申し上げます」と、挨拶があった。

続いて、新日本建販株式会社社長の乾杯の音頭で賑やかに宴会が始まり、サン・エンジニアリング(株)吉田社長より「横浜営業所が出来たことにより、今まで以上に三笠産業の機動力に期待し、三笠の意気込みに応えられるよう我々も頑張る」という力強いお言葉を頂き、パーティーは最高潮に達した。

その後三笠の社員紹介があり横浜営業所の4人(青木、平田、山根、小林)が改めて挨拶をした。

時間はあっという間に過ぎ、盛会のうちにパーティーはお開きとなった。その間ご参加の皆様から暖かい激励や労いのことばを数多く頂戴し、また、お祝いの電報も数多く頂きました。まことに有り難うございました。

皆様方より送られた多数のご厚情に対して厚くお礼申し上げます。

横浜営業所 青木記

技術教室



No.41

三笠のMTランマーにエアクリナーが二重になったものが出来たそうですが、どんなものなのでしょう

苦小牧市の福島さんのお質問におこたえします。

三笠のオイルバス式ランマーMTシリーズは初代のMT-68が十数年前に登場して以来その輻圧力や使い易さが好評を博し、軽量小型のMT-50V、

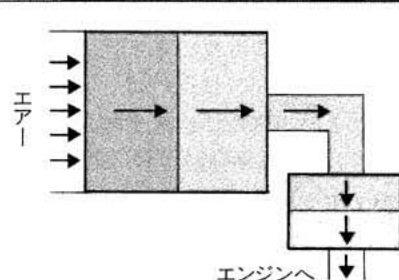
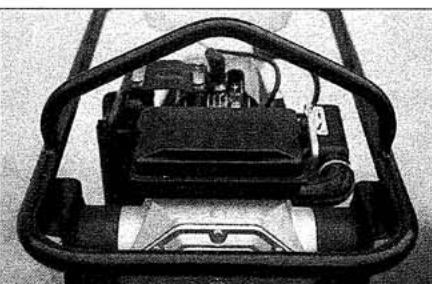
ハイジャンプ型のMT-70Vあるいは防音対策を施したMT-68SGKやMT-68SSとシリーズを充実させてまいりました。そして昨年は5月のMT-70Wを皮切りに2重にエアクリナーを搭載したタイプが登場させ各地で高い評価を受けております。

三笠のランマーはロビンの2サイクルガソリンエンジンを動力にしております。エンジンは空気と燃料の混合気を吸入し、これを圧縮、爆発し、得たエネルギーを回転運動に変え、ランマーでは更に歯車を介して減速し、上下運動に変換しています。

ランマーがジャンプして土の締固め作業をすると埃や土くれが舞い上がり飛散します。これらの埃などがエンジンのシリンダー内に吸い込まれますとシリンダーの内面を研磨しているような状態になります。これを防ぐために気化器の空気取り入れ口にはエアクリナーが取り付けられていますが、これをこまめに清掃しないと目詰まりを起こして運転不調の原因となります。

クリーナーの清掃について、当社では50時間毎を推奨していますが、埃の多い現場では更に短い時間での清掃が必要です。

ところがこの清掃、ついつい忘れがちになり、そのための不調も多いように見受けられます。特にレンタル機としてご利用いただいている場合にはこの管理がなかなか面倒なようです。



そこで三笠のWクリーナーランマーの登場となりました。

Wクリーナーランマーは従来のエアクリナーの前に一次側として大型エアクリナーを設けたもので、クランクケースの上に装着されています。装着位置が高い上に吸い込み口が前を向いているので土くれや砂などが飛び込みにくいという副次的効果もあり、当社の実験によれば従来型に比べ約9倍の埃を捕捉する迄使用出来るという結果が出ております。

大型エアクリナーの清掃は通常余裕をもたせて200～300時間毎をお奨めしますが作業はいたって簡単で、特別な工具はいりません。エアクリナーからエレメントを外し白灯油で洗浄したあと上部エレメント(黄色)には2～3cc、下部エレメントには13～15ccのエンジンオイルをしみ込ませ軽く絞ってから組み付けるだけです。

この様に三笠のダブルクリーナーランマーは整備性と耐久性が一段と向上したランマーです。是非お試しください。

北海道'95オープニング フェア盛大に開催

北海道の厳しい冬も間もなく終わりを告げようとする3月8日(水)、9日(木)の両日、三笠産業(株)札幌営業所に於いて北海道三笠レンタル会協賛により第9回目に当たる'95オープニングフェアを開催いたしました。

当日は比較的天候も良く、札幌近郊はもとより、遠く釧路、浦河や名寄よりお越し頂いたお客様も多数おられました。

今年は新製品でありますMT-50W(ダブルクリーナー搭載型)に関心が集まった他、好評を博しておりますパイプロコンパクターの大型MVH-402を展示し、従来の200、302とラインアッ

プも揃いました。またマイコンパイプレーターやローラー等三笠主力製品も数多く展示し、三笠の品揃えの多さを見ていただきました。

恒例となりましたゴルフレッスンも好評で、順番待ちするお客様がおられる程でした。

会場内では、ラーメンや焼き鳥を食べながら商談が大いに賑わい、その場でのご成約を多数頂き所員一同大いに気を良くした次第であります。これも北海道三笠レンタル会を始めお取引先の方々、またご来場頂きましたユーザーさんのお陰と深く感謝申し上げます。また来年もより一層皆様に喜んでいただけるフェアにしたいと思っておりますので一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

札幌営業所 丸山記



貴族のひらきなお

ふじわらのやすすけ

藤原保輔 (京都出身)

(? ~ 988)

今は昔、袴垂(はかまだれ)という凄腕の盗賊の大親分がいた。腕力強く足が速く大胆不敵で思慮深く非情。相手が弱いとみれば太刀で脅かし、少しでも強そうなら後ろから斬り殺して身ぐるみ奪い取った。女や子どもはさらって遠いところへ売り飛ばす。彼に狙われたらどんな人でもかなわない。命だけ助けられれば幸いといってよかった。

袴垂れの姓名は保輔(やすすけ)、藤原保輔という。いとこには関白藤原道長の身辺を守る家司として武勇に長じた藤原保昌がおり、叔父には和泉国守、信濃国守をつとめた藤原陳忠(のぶただ)もいて、血筋正しい貴族の家柄に生まれた。だからといって宮廷や中央政界で栄達するチャンスにありつけるものではない。この程度の貴族の殆どは地方に赴任して思う存分に私腹を肥やして帰京するのが常だったが、保輔には待てど暮らせど地方任官の沙汰もない。ついに我慢がでさず決心して強盗の道を選んだのだ。

いくたびか逮捕され入牢したが、そのつど大赦とか恩赦の名目を出獄しては勇猛な強盗ぶりを見せている。つまり平安時代という貴族専横の時代に怒りを感じ反逆した闘士だったといえるだろう。その被害にあった人々は大不運だが袴垂れ保輔には「時代」との闘争という貴族ひらきなおりの精神があったのである。

ある春の夜のこと。袴垂れはあちこ

ち獲物をさがして歩いたが、よい鴨に出会わない。ちかごろは夜のとばりがおりると人々は警戒して出歩かず、家々はかたく戸を閉ざしてしまうから押し込み強盗もむずかしくなっていた。

シーンと静まりかえった都大路を袴垂が孤独なけだもののように、のしのし歩きまわっていると、遠いかなたから清らかな笛の音が流れてくるのに気がついた。耳を澄ますと、どうやらその笛の音はこちらに向かって近づいて来る。ちょうどその時、半月が雲間から顔を出して如何にも春のおぼろ月夜らしい明るさが都大路を照らした。

ものかげに身をかくして待っていると、はでな狩衣に袴をはいた男で、家来もつれず一人きりで笛を吹きながら歩いてくる。袴垂は喜んだ。

「ああ、ありがたや。俺に着物をくれる良い鴨がやって来たわい」

待ちかまえていると笛の主はなんの警戒心もない悠々とした足どりで目の



前を通過してゆく。それっ！今だ。飛びかかって打ち倒そうと身構えたが、どうしたわけか身体がぶるぶる震えて動かなくなった。しばらくして気を取りなおし、今度は後をつけていったが、笛の男は尾行など少しも怖がる気配も見せず静かな歩調で笛を吹いてゆく。「ちくしょうめ。もっとおどかしてやろう」と袴垂は足音を高くして走り寄った。けれども相手はまったく動揺もみせず、笛を吹きながらチラと横目をくれただけ。

襲いかかる気力をそがれたまま袴垂は追い越してしまった。相手が恐怖にひきつった表情を見せてくれないと困るのである。なんとかして恐ろしがら



バラ、チューリップ、アネモネ、ガーベラ、カスミソウ、ミモザ、スイトピーエとせとら。毎週月曜日の昼過ぎ、本社四階会議室が花の香りに満ちあふれます。女子社員の方々が入れ代わり立ち代わり参加する『生花講習会』のひとつです。これこそ文字どおり花やいだ雰囲気というのでしょうか。先生は古流と草月流の免状をお持ちの山田理悠先生。受講生ひとりひとりに肩越しに顔を寄せるようにして優しく厳しく教授して下さいます。



この生花講習会の歴史をたずねてみますと、昭和40年4月28日付の社内ニュースに「この度女子社員の希望で毎月4回、土曜日の12時30分から草月流の恩田静江先生をお招きして生花講習会を始めることになりました。(幹事・吉原、東山)」とあります。以来レンメンとして絶えることなく続き、今の先生は四代目とのことです。野球部は消え俳句同好会も姿を消した当今、これは本社随一の長寿番組として祝賀に値するではありませんか。この4月28日は満30周年の記念日になります。

花のいのちは短くて……は往年の女流詩人の名高い溜め息ですが、どっこい三笠産業の花のいのちは力強く健康そのもの。ついでに現在の幹事辻さん、長谷川さんにお伺いしてみますと「いいえ！ 男子禁制どころが大歓迎です！」でした。

せようと、今度は正面から走っていった体当たりを試みたが、瞬間バツと軽く身をかわされてしまった。笛の男はなにこともなかったかのように清らかな笛の音を流してゆく。

手をかえて真横から突き当たってみたがツイッと身をかわされて袴垂のほうがつんのめりそうになった。あれやこれや何度もやってみたがさっぱり相手にされない。前になったり横に並んだり後ろからついて行ったりしている

ろ月の下をまた悠然と歩き出した。完全に気をのまれてしまった袴垂は逃げることもできずとぼとぼと後ろからついて行くのだった。——おれは今まで沢山の人を脅迫し、ときには殺生もしてきたが、おれにかなう奴は一人もいなかった。こわい人間なんてこの世に誰ひとりいないつもりだったのに。この笛の男は何だ。人間なのか——そう呟きながら総毛立ったようにぞくぞくと寒く魔法にかけられた気分で、黙ってついて行った。

やがて大きな屋敷の前につくと、笛の男は「ここで待て」とだけ云って門の中へ入った。「待たせたな。こちらへ」という声に気がついてみると、目の前にふっくらとした綿入れが一着さし出され、「こんご着物が欲しい時にはここにやって来るがいい。相手の実力も知らずにやたらと人を襲ってはお前の身が危ないからな。ウフフ」

ちょっと笑って奥へ入っていく後ろ姿を袴垂は死んだような心地で見送り、まだがくがくしている足を引きずって隠れ家へもどったのであった。

さっそく子分どもにその屋敷のことを調べさせると、前摂津守藤原のなながしの家だと判った。武家の出でなくても、こんな肝力の強い者が藤原一門にはいたのである。

後日、袴垂は検非違使(けびいし)に捕まって種々白状したとき「あの春の夜のことだけは思い出すたびに恐ろしく震えがきます」と打ち明けたと語り伝えられている。今は昔、今昔物語集からのお話でした。

うちに随分遠くまで歩いてしまった。

「このまま引きさがっては袴垂の名がすたれる。なんとしてくれようか」

ついに刀を引き抜いて背後から迫ると、びたっと笛を吹くのをやめて、「なにものだ!!」と一喝。

豪胆なことでは自信たっぷりの袴垂だがこの一喝の鋭さに肝がつぶれてしまい、思わず知らず道の上にはいつくばっていた。「おまえは何者じゃ」と、こんどはおだやかに云う。

「追いはぎの袴垂と申します」

「そうか。そういう名前の者がいるとは聞いたことがある。変わった奴だ。一緒にいてまいれ」

それだけ云って笛を唇にあて、おぼ

熱気あふれた会場 宮城鋼具(株)が開催 東北ブロック記念展示会

三笠の長年にわたる代理店である宮城鋼具(株)(本社東京 社長宮城真一氏)さんに於かれましては、平成7年2月8日、9日の両日、岩手県盛岡市の岩手県産業文化センターにおいて仙台営業所、秋田営業所、青森営業所のそれぞれ開設25周年、15周年、5周年を記念して「'95MIYAGIKOUGU EXHIBITION」と題して出品メーカー70数社の協賛により販売店さん、ユーザーさんを対象とした展示会を開催され大盛況となった。

当日は東北6県のお客様だけではなく本社営業所、小山、長野の各営業所のお客様も新幹線やバスで見学に来られ両日で1,000名余のご来場があり、会場は熱気で溢れ、これほど大規模な展示会であればもっとユーザーさんを案内してくれば良かったと悔やまれる代理店さんもいた。

宮城鋼具さんは平日頃建設関連の金物の問屋さんとして金物店、建材店、機械工具店を通じてゼネコン、土木工事業者、工務店、大工、水道設備業者の皆さんに、その豊富な経験を生かし、時節にマッチした商品を迅速かつ安価に提供しており、三笠の商品もランマー、プレート、軽便パイプレーターといった定番商品はもとより、インパクトローラーや前後進パイプロンパクトといった三笠のオリジナル商品も



提供しており、今回の展示会ではインパクトローラーの展示は無理であったがMVH-402DSパイプロンパクトが成約になり(小山営業所)一同同慶の至りであった。

展示会の成功に向かって企画の段階から全力で取り組んだ宮城鋼具様どうも有り難うございました。そしてこれからもよろしくお願いいたします。

仙台営業所 小笠原記

大塚機械(株) 神奈川営業所オープン 披露パーティーを挙行



大塚社長

弊社の有力な販売店である大塚機械(株)さん(本社 神奈川県横浜市西区平沼1丁目21-4 社長 大塚トモ子氏)はこの度、会社設立40周年を記念して神奈川営業所(横浜市神奈川区三枚町135-5)を開設され、3月20日(月)春うらかなお天気の中開設披露パーティーを挙行されました。

大塚機械(株)さんは昭和8年創業以来機械の製造・販売を手がけ、地元密着の営業を展開し、「良質な機械の提供を通して地域の発展に貢献します。」をモットーに現在は、販売・リースをメインに営業されています。

業務の拡大にともなって平沼の工場が少してせまになってきたなかで新横浜駅にほど近い交通至便な好立地に新営業所を開設され、専務と営業推進本部長であられる2人のご子息を中心に新たな若い力で益々ご繁盛されること

と思います。

最後に大塚社長さんはじめ社員方々の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

横浜営業所 平田記

第38回笠友会総会開催 横浜で親睦満喫



春の嵐の中、横浜みなとみらい21のシンボルでもあるランドマークタワー内の「ホテルニッコー」にて第38回笠友会総会が開催されました。

3月18日(金)午後2時30分、桜木町駅に集合、動く歩道で右手に優雅な姿の帆船日本丸を見ながら一路総会会場へ直行し、小憩の後笠友会総会に臨みました。

総会は笠友会の多羅尾会長の挨拶で始まり、挨拶の冒頭で昨年物故された会員の昭和物産仲田前社長、佐藤機械製作所佐藤前社長のご冥福を祈り黙禱を捧げました。会長挨拶のあと三笠産業の京谷社長から会社の過去1年間の業績、今後の方針、展望などの説明があり、続いて新会員の紹介などがあり、総会は滞り無く進み閉会となりました。

今回は新会員14社の参加を頂き、総数43社となり、賛助会員を加えると58社になります。

総会終了後は皆さんお待ちかねの懇親会が港町横浜の名所の一つ中華街で広東料理の老舗、聘珍樓で行われ、激しい雨の中参加頂いた新会員、従来の会員の皆様共に、美味しい中華料理に舌鼓を打ちながら話がだいに盛り上が



り、そのまま2次会へと突入。賑やかな楽しい横浜の夜はあっという間に更けて行きました。

明けて19日(土)は、肌寒く小雨まじりのあいにくの天気でしたがホテルより歩いて5分ほどのふかり桟橋より、遊覧船にて50分ほどのクルージングのあと「恋する遊び島」のキャッチフレーズの八景島シーパラダイスへ到着。

八景島はアクアミュージアム(水族館)、遊園地の施設からなり、主に水族館やイルカ、アシカショーを半日見学、充分楽しみ、また来年の総会に向かってお互い元気で頑張りましょうと皆様声を掛けつつ帰路につきました。

資材課 獅畑記

三笠クイズ VOL.17

【問題】 タテとヨコのカギを解いて1~5の文字をつなげると、4月にちなんだ言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

ア	5		3
A	B	D	F
	イ	2	ウ
	エ		1
		4オ	
		C	E
カ			

ヒント

ヨコのカギ

- ア、引き潮の干潟に出て、貝などを拾います。
イ、「旅の〇〇」は吉田拓郎の曲。
ウ、猫の首に〇〇をつける。
エ、モモ〇〇三年、カキ八年。
オ、農業によって生計を立てている家。
カ、被害がそれ以上に広がることを防ぐ。延焼を〇〇〇〇〇。

タテのカギ

- A、立てば〇〇〇〇〇すわれば牡丹。
B、ハアー〇〇〇踊るならチョイと東京音頭。
C、輪島市があるのは〇〇半島。
D、燃料用の気体。
E、〇〇にうぐいす。
F、調子のよいさま。律動的。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には、抽選のうえ10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 〒101東京都千代田区猿樂町1-4-3
三笠産業株式会社
「三笠ニュース」編集室

●締切り 1995年5月8日(月) 消印有効

VOL.16の答えは「ユキマツリ」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。
宝示戸徳子様(下都賀郡) 松田健一様(札幌市) 山口弘美様(南陽市) 大石努様(御殿場市) 菅野昌子様(多摩市) 長谷川康二様(恵那市) 広瀬孝明様(宮古市) 柴田貴嗣様(五條市) 中山勝実様(南埼玉郡) 小林千賀子様(諏訪郡)

氏名 青木 誠

生年月日 昭和21年3月14日

出身地 東京都

所属 第二営業部神奈川課

家族 妻と2男



—日頃どんな仕事をしていますか？

三笠製品がユーザー様に愛され、広く神奈川県でご利用頂けるべく、営業所の他の3人と、ユーザー様の、またディーラー様からのお問い合わせ、ご意見をお聞きし、日夜三笠製品の拡販に力を入れています。

—今最も関心を持っていることはなんですか？

阪神淡路大震災の復旧に関心を持っています。普段は現場で活躍しているランマー、カッターを見ても「やってるな」と思いながら通り過ぎるのだが、この大災害の復旧現場の作業機として緑の下力持的に活躍しているランマーを報道で見ると、何もできない自分がウロウロ手伝いに行くよりも自分の仕事を通じ被災地のお手伝いをさせていただいたほうがずっと役に立っていると思います。

後はただただ被災地の皆様の頑張りを祈るだけです。

—お客様に一言どうぞ

1月27日。神奈川県横浜市港北区新羽町に横浜営業所がオープン。我々乗込み隊3人衆、神奈川県内を三笠カラーで埋めるのが望み。どうかご指導、ご協力の程から隅まで宜しくお願い申し上げます。

我ら三笠ピープルズ



氏名 越後 純一

生年月日 昭和42年12月9日

出身地 宮城県

所属 第一営業部東北一課

家族 独身

—日頃どんな仕事をしていますか？

入社3年目になりますが、現在は福島県の担当としてディーラーさん訪問や同行販売などで、お客様にお世話になっております。まだ経験不足なもので、皆様にご迷惑をおかけすることも多く反省することしきりといったところですが、一日も早くまともな営業マンになるべく奮闘中です。

—今最も関心を持っていることはなんですか？

中学の頃から楽器を演奏することが好きで、妹のエレクトーンを手始めに独学で色々な楽器をかじりました。現在はエレクトリック・ギターにハマっておりまして、相変らず御近所の嫌われ者が続けております(笑)。何せ昔は髪は伸ばすは、ヒゲは伸ばすはで、後指を差されていたので(爆笑)。時々仲間と集まって、ギターを片手に酒を飲むひと時がやっぱり楽しいですね。

—お客様に一言どうぞ

名字が名字なもので、時折、悪徳商人などと声を掛けられることもございますが、決して悪人では無いつもりです。まだまだ一人前と呼ばれるに早いと思いますが、皆様に信頼される人間になるべく、努力致しますので、長い目で見て頂ければ幸いです。今後共どうか宜しくお願い致します。